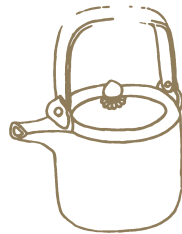


スイーツ武士の健康ティータイム。

静岡文化芸術大学公開講座

近世日本の 医・薬・食の文化と その現代的復元

— 歴史学を観光に繋ぐ —



竹藜亭「嘉定記」(東京都立図書館/部分)

2023年7月9日



第1部 | 13:30 — 15:30

第2部 | 15:45 — 17:00

第1部 静岡文化芸術大学・大講義室(南176) 司会 廣川和花(専修大学)

「近世日本における薬としての食物——菓子と茶に注目して」 宮崎千穂(静岡文化芸術大学) 「徳川家康の薬を薬膳茶で“再現”する」 秋山あかね(和薬・漢方の本草閣)
「徳川幕府嘉定菓子と近世菓子の復元」 宮崎千穂 内田弘守(巖邑堂)

第2部 静岡文化芸術大学・自由創造工房 [実演]「体質に合った薬膳茶を作ろう」 秋山あかね 坪松かおり(和薬・漢方の本草閣)

主催 公立大学法人 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター / 科学研究費補助金・基盤研究(B)(宮崎千穂:21H00500)

後援 浜松市



東アジア
文化都市
2023 静岡県
Culture City of East Asia
2023 SHIZUOKA

現代に生きる私たちは、「魔法の弾丸」抗生剤をはじめとして近代医学が生み出した薬に頼ることが多いようです。一方で、私たちは、古代以来の医薬文化も受け継いできています。医薬文化は、世界各地、何処も、多様で豊かなものです。

近世日本においては食物を薬と捉える見方があります。菓子や茶もまた病除けや養生の文化との関連で考えることができます。本講座では、菓子と茶をテーマとして、近世日本における医学・薬学の歴史を学びましょう。歴史史料に基づき復元された徳川幕府の儀礼「嘉定」(旧暦6月16日)の菓子や、徳川家康の薬から「再現」した薬膳茶も披露されます。本講座を通じて、歴史学を身近に感じ、歴史学が生みうる新たな観光資源について考えてみませんか。

※旧暦6月16日は、令和5年の場合、だいたい8月2日にあたります。



楊洲周延「千代田之御表」[六月十六日嘉祥ノ図](東京都立図書館/部分)
福田松珀「増補日用食性」(国立国会図書館デジタルコレクション)

第1部

13:30 ▶ 15:30

静岡文化芸術大学・大講義室(南176)

司会

廣川和花(専修大学)

- 「近世日本における薬としての食物 —菓子と茶に注目して」..... 宮崎千穂(静岡文化芸術大学)
- 「徳川幕府嘉定菓子と近世菓子の復元」..... 宮崎千穂 内田弘守(巖邑堂)
- 「徳川家康の薬を薬膳茶で“再現”する」..... 秋山あかね(和薬・漢方の本草閣)

第2部

15:45 ▶ 17:00

静岡文化芸術大学・自由創造工房

- 実演「体質に合った薬膳茶を作ろう」..... 秋山あかね 坪松かおり(和薬・漢方の本草閣)

2023.7.9 [日]

入場無料

※構内に駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

JR 浜松駅より徒歩15分 / 遠州鉄道 遠州病院駅より徒歩8分 / 遠鉄バス 文化芸術大学停留所より徒歩3分



要事前申込(定員: 第1部先着100名、第2部先着30名)

◀ お申し込みはこちら

